

ホスピタルストリート

No.04 /
Hospital Street 2023

香取おみがわ医療センターの 医事スタッフを紹介いたします。



前列左より 伊藤医事班長、石橋フロントマネージャー（ニチイ学館）、中里医事課長、鈴木診療情報管理班長

受付から診療・会計まで、親切で丁寧な対応を心掛けて

医事課長 中里 春枝

医事課の業務は、患者さんの診療内容から医療費を計算して請求する業務の他、受付窓口業務、医師の診療補助をする業務、カルテ管理や診療情報を扱う業務等があります。スタッフには、当医療センター職員と委託会社職員がおり、お互いに情報共有しながら業務にあたっています。

受付は、来院された患者さんと一番初めに対応することから、「病院の顔」と言われています。受付スタッフは、不安な気持ちで来院されている患者さんに対して、少しでも気持ちが和らぎ、安心して診療が受けられるよう、親切で丁寧な対応を心掛けておりますので、どうぞお気軽にお声掛けください。

私たちは事務職員ですが、「チーム医療の一員」という自覚を持っています。他部署のスタッフと連携を図り、良質な医療の提供や患者サービスの向上に貢献できるよう努めていく所存です。

香取おみがわ医療センターの外来・入院診療を24時間サポートし、医療機器による撮影や検査を行っている放射線科と臨床検査科を紹介いたします。

放射線科

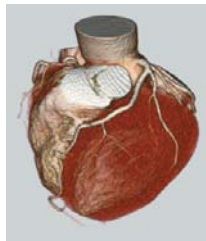
最新の撮影技術で、診断や治療に最適な画像を提供する

放射線科は、診療放射線技師6名、助手1名で業務を行い、休日・時間外診療にも対応しています。診療放射線技師が主人公である「ラジエーションハウス」がドラマ化され、その業務内容を知った方も多いことと思います。放射線科は病気を診断するため、放射線であるX線等を用いて人体の状態を画像化し、医師等に診療情報として提供します。また、カテーテル治療や整形外科手術でも治療のサポートを行っています。診療放射線技師の使命は、診断や治療に最適な画像を提供することです。絶えず進歩する医療技術に対応するために、画像診断機器を最大限に活用できるよう撮影技術の向上を図っています。

〈X線CT検査〉

認定技師により最適なX線CT撮影をする

X線CT装置は、X線を人体の診断する部分に照射しながら回転撮影し、コンピュータ処理を行うことにより、脳、内臓、骨等の断面画像や三次元画像を構築します。身体の内臓をさまざまな断面で見ることができるため、X線写真だけではわからない病気を見つけることができます。また、造影剤を使用することでより正確な診断が行え、心臓の冠動脈をはじめ、血管の病気も見つけることができます。



左冠動脈画像

〈他の画像診断機器〉

- ・X線撮影装置 2台…胸部、腹部、骨等をX線撮影します。
- ・X線TV装置 2台…X線透視による神経根ブロック、撮影等。
- ・血管撮影装置 1台…カテーテル検査・治療を行います。
- ・超音波検査装置 1台…放射線科では、心エコー検査を行います。
- ・移動式X線撮影装置 2台…病室や手術室で、X線撮影します。
- ・外科用X線撮影装置 3台…手術中にX線診断を行います。



撮影技術向上のために

さまざまな分野の専門技師や認定技師資格を取得し、また、関連学会への所属、研究会の幹事を務めるなど、最新技術の習得に努めています。

- 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師…1名
- X線CT認定技師…4名
- 肺がんCT検診認定技師…1名
- 千葉アンギオ技術研究会 幹事…2名
- 千葉GE SIGNAユーザーズミーティング 幹事…1名

〈MRI検査〉

多機能MRI装置で、負担のない検査を

MRI検査は、強力な磁石と電波を使って撮影し、身体の内臓を様々な角度から見る事ができ、主に、脳、脊髄、関節や血管などの検査に使われます。



MRI検査は骨の撮影ができないため、X線CT検査と組み合わせて診断精度を高めます。

令和元年に装置を更新し、さまざまな撮影法が可能となり、撮影時間が大幅に短縮されました。患者さんが入るトンネル開口部が、MRI装置最大級に広いために圧迫感がとても軽減されています。



安心してX線による画像診断を受けていただくために

医療における放射線の利用には、「検査で得られる情報」の方が、「放射線による身体への影響やリスク」よりも有益であることが法令でも求められています。放射線を適正に利用するために、医療放射線安全管理者のもと、放射線量の測定と画質評価を行い、可能な限り被ばく線量を低減しています。

当医療センターの放射線量は国内のガイドラインよりも低く、ホームページでも公表しています。



臨床検査科

技師会に認められた検査精度で、診断を確実に

臨床検査科は、臨床検査技師6名、助手1名の合計7名で検査業務を行い、休日・時間外診療にも対応しています。臨床検査技師は、採血業務、血液・尿といった検体の分析、心電図や超音波検査等の生理検査、また、新型コロナウイルスの抗原検査やPCR検査も行っています。

臨床検査科は検査の精度を大切に考え、「標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価できる施設」として、日本臨床衛生検査技師会から品質保証施設認証を受けています。千葉県内では7施設が品質保証施設認証を取得しています。



生理検査室



採血室

〈生化学・免疫分析装置〉

多くの検査項目をスピーディーに分析

血液、尿の生化学分析を行い、各臓器の状態を把握したり、感染症の有無などを検査したりします。電解質、総コレステロール、腫瘍マーカー、感染症、新型コロナウイルス抗原定量等、幅広い生化学・免疫項目を短時間で測定できる分析装置です。1人分の検査にかかる時間は1分から27分程度です。



ロッシュ・ダイアグノスティックス(株)
Cobas8000/ISE/c702/c502/e602

で測定できる分析装置です。1人分の検査にかかる時間は1分から27分程度です。

〈他の検査機器〉

- ・超音波検査装置 2台…頸部、腹部、下肢、乳腺等を検査します。
- ・心電図、24時間ホルター心電図検査…不整脈等を調べます。
- ・血圧脈波検査…動脈狭窄の有無や動脈硬化の程度を調べます。
- ・肺機能検査…肺活量等を検査します。
- ・終夜睡眠ポリグラフィー (PSG) 検査…睡眠時無呼吸症候群を調べます。
- ・筋電図・誘発電位検査…神経障害等を調べます。

臨床検査の質を保つ

日々の臨床検査業務の質を保つためにさまざまな認定資格を取得し、また、関連学会に所属して幅広い専門知識を習得しています。

- 二級臨床検査士 循環器・血液…各1名
- 緊急臨床検査士…2名
- 細胞検査士…1名
- 認定心電検査技師…1名
- 心電図検定1級…2名
- 日本臨床神経生理学学会認定技師(術中モニタリング)…1名
- 精度管理責任者育成講習会修了…2名
- NST専門療法士…1名
- 医療安全管理者(日本病院会)…1名



〈PCR検査装置(遺伝子解析装置)〉

新型コロナウイルス感染症診断の要

新型コロナウイルス感染症の診断に用いる、PCR検査を行う分析装置です。

抗原定量検査より高い感度で検査が行え、安定した検査結果が得られます。検査時間は1検体約90分、最大4検体まで同時に検査が可能です。



(株)島津製作所
AutoAmp



検査室内

臨床検査技師業務の拡大に備えて

タスク・シフト/シェアにより臨床検査技師が行える業務が拡大しています。各スタッフは厚生労働大臣指定講習会に参加し、新しい知識や手技の習得を進めています。また、今年度中に輸血検査における輸血機能評価認定制度(I&A)の取得を目指しています。

近隣の医療機関から生理検査等の検査を依頼できるよう、装置の共同利用についても準備を進めています。



新着情報

◆寺野理事長 令和4年秋の叙勲 「旭日重光章」受章

寺野彰理事長が、令和4年秋の叙勲で私学振興功勞により「旭日重光章」を受章しました。

旭日重光章の受章者は、全国で13名。令和4年11月9日午後、宮中において、岸田内閣総理大臣から勲章と勲記を伝達され、その後、天皇陛下に拝謁しました。

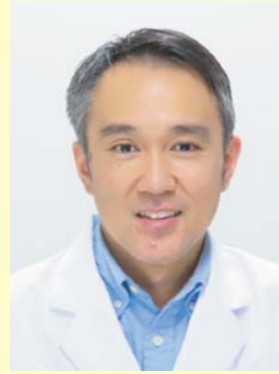
53歳で東京大学医学部第二内科講師から獨協医科大学消化器内科主任教授となり、5年後に獨協医科大学病院の病院長、その後、学長となり、学校法人獨協学園理事長、日本私立医科大学協会会長なども兼任。約27年7か月にわたり、獨協学園の発展に尽力しました。獨協学園退職後、令和3年11月から香取おみがわ医療センター顧問、令和4年4月から理事長に着任しました。



◆マイナンバーカードで保険証確認が行えます。

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます。

オンラインで資格確認を行うので、確認時間が短縮され、また、医療費が高額になったときに手続きをする「限度額適用認定証」の情報も取得できるため、認定証の手続きが不要となります。マイナンバーカードをお持ちの方は、是非ご利用ください。



スポットライト

糖尿病・内分泌代謝内科

医学博士 **永野 秀和**

内分泌代謝内科指導医

糖尿病専門医

総合内科専門医

令和5年1月1日に常勤医師として着任した、 永野秀和医師を紹介します。

【経歴】

千葉大学医学部医学科卒業

千葉大学医学部附属病院 糖尿病代謝内分泌内科 医員

東千葉メディカルセンター 代謝内分泌内科 医長

千葉大学大学院医学研究院

細胞治療内科学、分子病態解析学 特任助教
米国コロンビア大学

生物科学部 ポストドクトラルフェロー
千葉大学大学院医学研究院

分子病態解析学 特任准教授

内科外来の非常勤医師として当医療センターに関わってまいりましたが、1月1日に常勤医師として着任いたしました。

糖尿病や内分泌代謝疾患を専門としており、目標としては、他病院との連携を図りながら、糖尿病診療とその療養指導の体制を当医療センターに構築すること、また、甲状腺、下垂体、副腎の異常を原因とする内分泌疾患では、患者数は多くないものの、放置しておくこととさまざまな合併症を引き起こす病気が多いことから、病気の診断と専門機関への紹介などの連携を図っていきたいと思います。

これらの診療を通じて、当医療センターが新たに内分泌代謝・糖尿病内科領域の専門医認定教育施設となり、若い研修医が集まる魅力のある病院へと発展させたいと考えております。



地方独立行政法人

香取おみがわ医療センター

TEL 0478-82-3161 (代表) FAX 0478-83-3032

〒289-0332 千葉県香取市南原地新田438番地1

休 診 日 土曜・日曜・祝日・年末年始

診療受付 平日8時から (予約が必要な診療もあります)

診療科により診療時間は異なりますので、詳しくはホームページ等でご確認ください。

<http://www.hospital.omigawa.chiba.jp/>

